

原料費調整制度による適用ガス料金の調整について (平成30年2月検針分)

武州ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成30年2月に適用する1m³当たりの単位料金を、平成30年1月検針分に適用の料金に比べ0.09円(消費税込)下方に調整させていただきます。

調整は、検針月の3か月前から5か月前まで(中2か月)の3か月平均の原料価格変動額に応じて行うもので、平成30年2月検針分の単位料金は、平成29年9月から平成29年11月の平均原料価格に基づき算出しました。

この結果、1か月に32m³(45MJ/m³)のガスをお使いになる標準家庭で、平成30年1月検針分に比較して、3円(消費税込)ガス料金が下がります。

供給約款料金表

(消費税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (円/月)	単位料金 (円/m ³)		基準単位料金 (円/m ³)
			平成30年2月適用 単位料金(円/m ³)	平成30年1月適用 単位料金(円/m ³)	
料金表A	0m ³ から20m ³ まで	799	167.78	167.87	157.09
料金表B	20m ³ をこえ50m ³ まで	1,305	142.45	142.54	131.76
料金表C	50m ³ をこえ200m ³ まで	1,602	136.51	136.60	125.82
料金表D	200m ³ をこえ450m ³ まで	3,155	128.75	128.84	118.06
料金表E	450m ³ をこえ750m ³ まで	5,303	123.97	124.06	113.28
料金表F	750m ³ をこえるもの	10,649	116.85	116.94	106.16

標準家庭における影響

(消費税込)

1か月のご使用量	平成30年2月検針分の料金	平成30年1月検針分の料金	影響額
32m ³ (45MJ/m ³)	5,863円	5,866円	▲3円

原料価格の変動

基準平均原料価格 (a)	34,700 円/t
平成29年9月～平成29年11月の 平均原料価格 (b)	47,460 円/t
LNG価格	46,150 円/t
LPG価格	60,790 円/t
差 額 (b-a)	12,760 円/t

[参 考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を調整する制度です。
- ・ 基準平均原料価格(34,700円/t)と「平均原料価格(料金適用月の5か月前から3か月前の3か月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³当たり0.08424円(0.078円に1.08(消費税)を乗じた値)単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。

単位料金調整額の算定方法

- ・ 平均原料価格の算定

	LNG平均価格	(貿易統計ベース)	46,150 円/t	×	0.9608
+	LPG平均価格	(貿易統計ベース)	60,790 円/t	×	0.0513
			<hr/>		
			47,459.447 円		
				↓ (10円未満四捨五入)	
			47,460 円/t	<hr/>	

- ・ 原料価格変動額の算定(基準平均原料価格 34,700円/tからの変動額)

$$47,460 \text{ 円/t} - 34,700 \text{ 円/t} = 12,760 \text{ 円/t}$$

↓ (100円未満切り捨て)

$$12,700 \text{ 円/t}$$

- ・ 単位料金調整額(1m³当たり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = 12,700 \text{ 円/t} \div 100 \text{ 円} \times 0.08424 = 10.69848 \text{ 円}$$

↓ (小数点第3位以下切り捨て)

$$10.69 \text{ 円}$$